



ホワイトボード・ ミーティング®

ファシリテーター養成プログラム

ホワイトボード・ミーティング®で
ひとやまちが元気になるファシリテーターになろう!



対話と議論
会議で人と組織が成長します

ホワイトボード・ミーティング®とは？

ホワイトボード・ミーティング®は、ホワイトボードを活用して進める会議の方法です。ファシリテーターが参加者の意見をホワイトボードに書くので、何を話しあっているかが明確になり、効率的、効果的に会議が進みます。私たち一人ひとりが、ホワイトボード・ミーティング®のファシリテーターになると、日常のコミュニケーションが良好になり、チームワークが育まれます。2003年にちよんせいこ(株式会社ひとまち代表)が開発し、幅広い分野で取り組まれています。



株式会社ひとまち
代表取締役 ちよんせいこ

特徴
01

ホワイトボードに意見を可視化しながら進めます。書くことで承認します。



特徴
02

進行役をファシリテーター
参加者をサイドワーカーと呼びます。

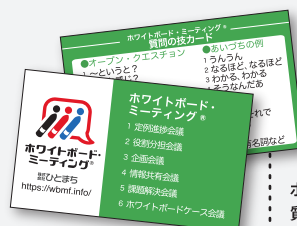
Facilitator Side worker



特徴
03

ホワイトボード・ミーティング®質問の技カードを使って、オープン・クエスチョンで深い情報共有を進めます。

もう少し詳しく
教えてください



ホワイトボード・ミーティング®
質問の技カード(名刺サイズ)
100枚 3,000円(税別)

特徴
04

話し合いに「発散→収束→活用」のプロセスを作り、色をわけて書きます。

発散 (情報共有)

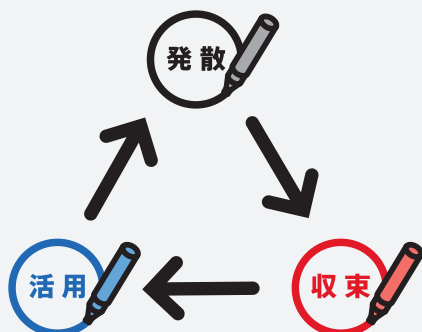
意見をドンドン出し、オープン・クエスチョンで深めます

収束 (意見の構造化)

出た意見を方向づけます

活用 (行動計画・結論)

具体的な行動や活動計画を決めます



特徴
05

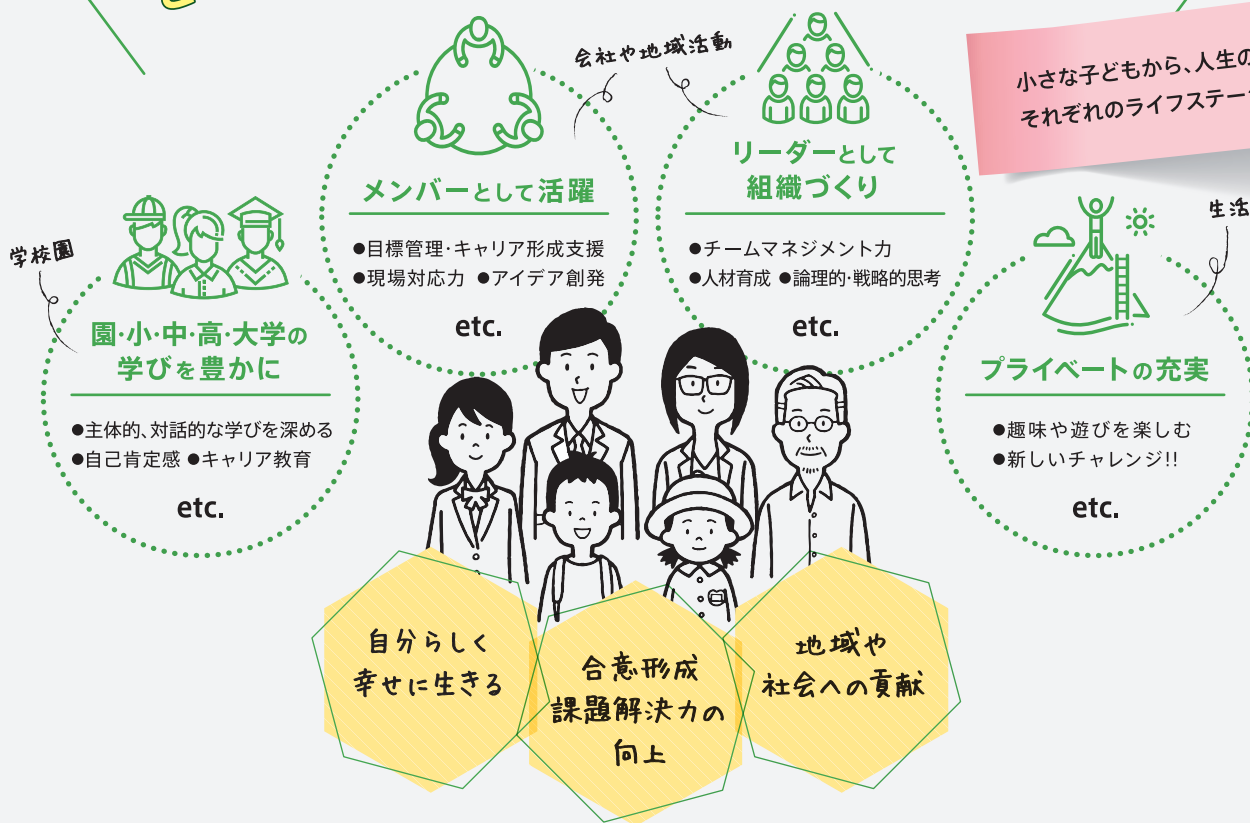
6つの会議フレームを組み合わせると
合意形成や課題解決をはかります。

6つの基本会議フレーム

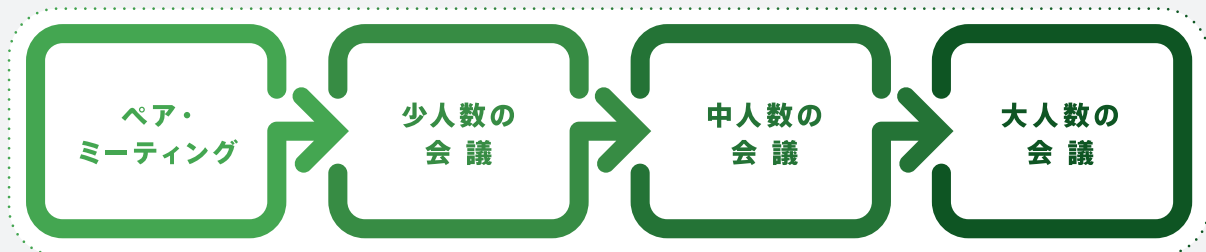
- 1 定例進捗会議
- 2 役割分担会議
- 3 企画会議
- 4 情報共有会議
- 5 課題解決会議
- 6 ホワイトボードケース会議

※ 熟練したファシリテーターは、6つの会議フレームを即興的に組み合わせることで進行します。

どのライフステージにもファシリテーター



ファシリテーターのキャリアプラン



ホワイトボード・ミーティング®を学ぶためには

千里の道も1歩から。まずは、ベーシック検定試験へのチャレンジがお勧めです。

例えば、職場や地域で集まって「受験勉強」を一緒にすれば、技術向上と相互理解が一挙に進んで効果的です。

ホワイトボード・ミーティング®認定講師によるセミナーや研修、オンラインレッスンをご受講ください。

検定試験の種類

株式会社ひとまちでは、ファシリテーションスキルを証明するホワイトボード・ミーティング®検定試験を実施しています。
個人・団体・会社の受験を受付けています。



ベーシック

定例進捗会議
役割分担会議
企画会議



アドバンス

情報共有会議
課題解決会議
プログラムデザイン会議



マスター

ホワイトボードケース会議等
〔コンフリクトマネジメント会議
ケア・サポート会議〕

事業内容

講師派遣

会議のコンサル

セミナー参加者募集

セミナー開催サポート

お気軽にお問い合わせください

経験者の声

ホワイトボードに意見を書くので、何を話しあっているのかがわかりやすいです。

練習するうちにチームワークが良くなりました。

トラブルが未然に防げました。

これまで2時間かかった会議が30分で終わりました。

みんなから意見が出て結論が明確になるのがとてもよいです。

ファシリテーションをひとつの体系として学べるのが魅力です。

文字を書くのは苦手ですが、練習するうちに書けるようになりました。

交代でファシリテーターをしながら会議をすると、会議の生産性が向上しました。

何度も練習をして、検定試験がんばりました。

子どもから大人まで。この技術を共有すると対等に話しあえます。



認定講師を募集しています

認定講師として活動するためには

- 1 検定試験を概ねA評価で合格
- 2 ホワイトボード・ミーティング®2Daysセミナーを受講
- 3 認定講師養成講座を受講

詳細はホームページをご確認ください。

ホワイトボード・ミーティング®の私的利用、間接商用利用はフリーです。有償無償を問わず教える場合や直接商用利用の場合は、当社との認定講師契約が必要です。

間接商用利用
ホワイトボード・ミーティング®の会議での利用

直接商用利用
ホワイトボード・ミーティング®で収入を得る利用

